



令和4年11月9日茨城県南部地震 調査報告書

アイサンテクノロジー株式会社

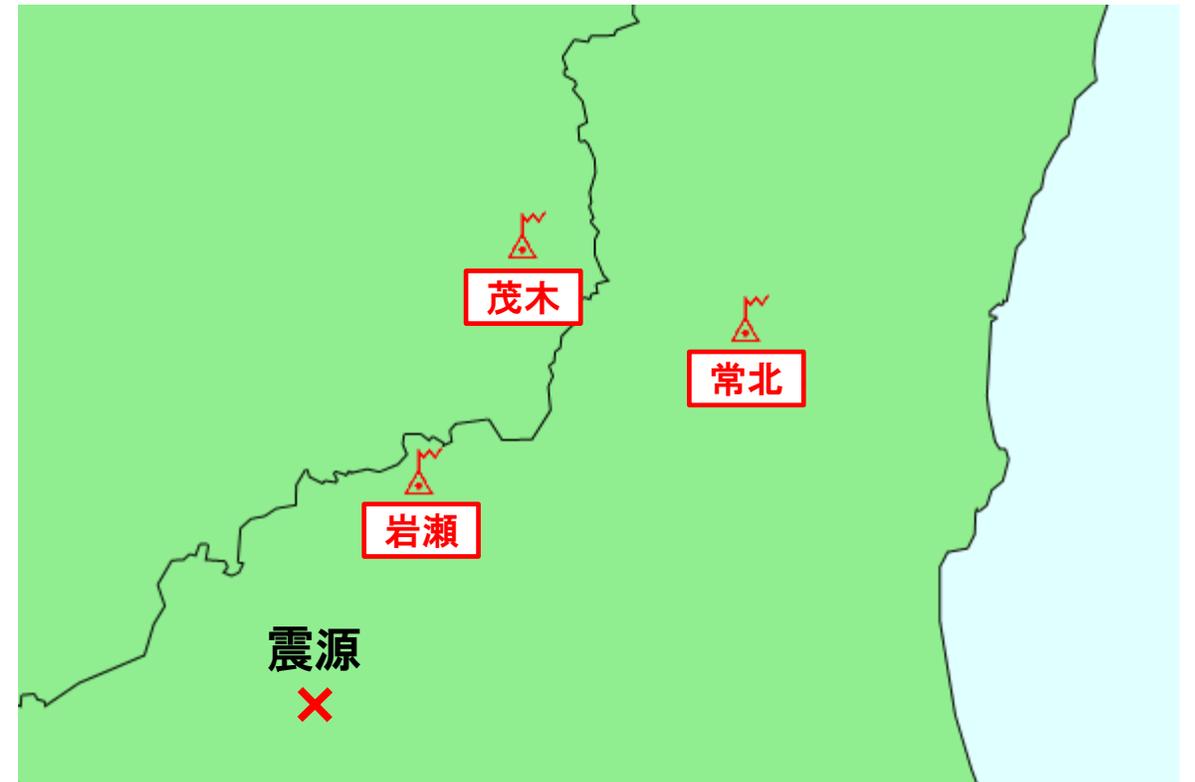
地震にて被災された皆様へ

11月9日に発生しました茨城県南部を震源とする地震におきまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
アイサンテクノロジーでは、お客様が被災された場合や災害復旧の緊急業務において、システムが不足し業務に支障が出るような場合には、速やかにサポートする体制を常時整えております。地震にて被災された場合や災害復旧・復興の緊急業務にて業務に支障が生じた際には【[災害対策ポリシー](#)】をご覧ください。

地殻変動量

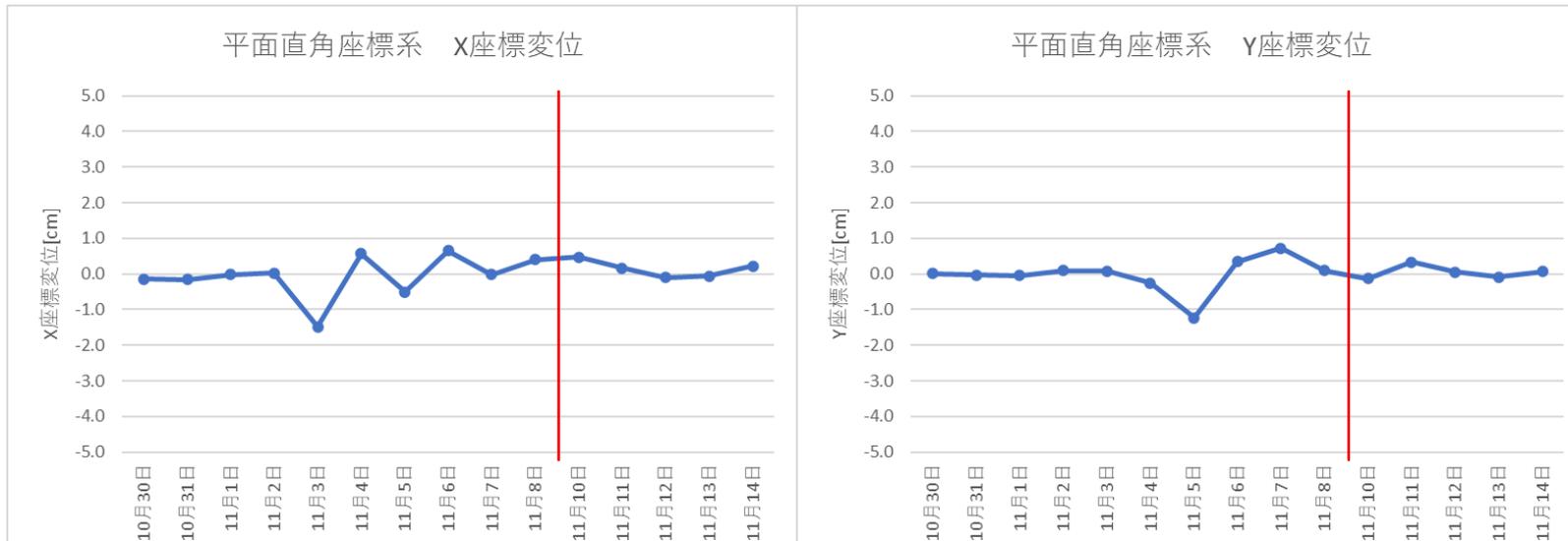
最大震度5強を記録した地域の近辺にある電子基準点を3つ選点し、10月30日（UTC）から地震発生日を除いて、15日間の観測データを用いてCLAS測位を実施した。CLAS測位結果は、1日ごとにFIX解のみで平均したものをグラフ化している。また、ゼロ平均化しているため、縦軸の中心は0である。

- 解析した点(赤)
 - 岩瀬(0215)
 - 茂木(0590)
 - 常北(0947)
- 解析ソフト
 - CLASLIB Ver. 0.7.3



岩瀬

CLAS測位結果



赤線は地震発生日を表している。

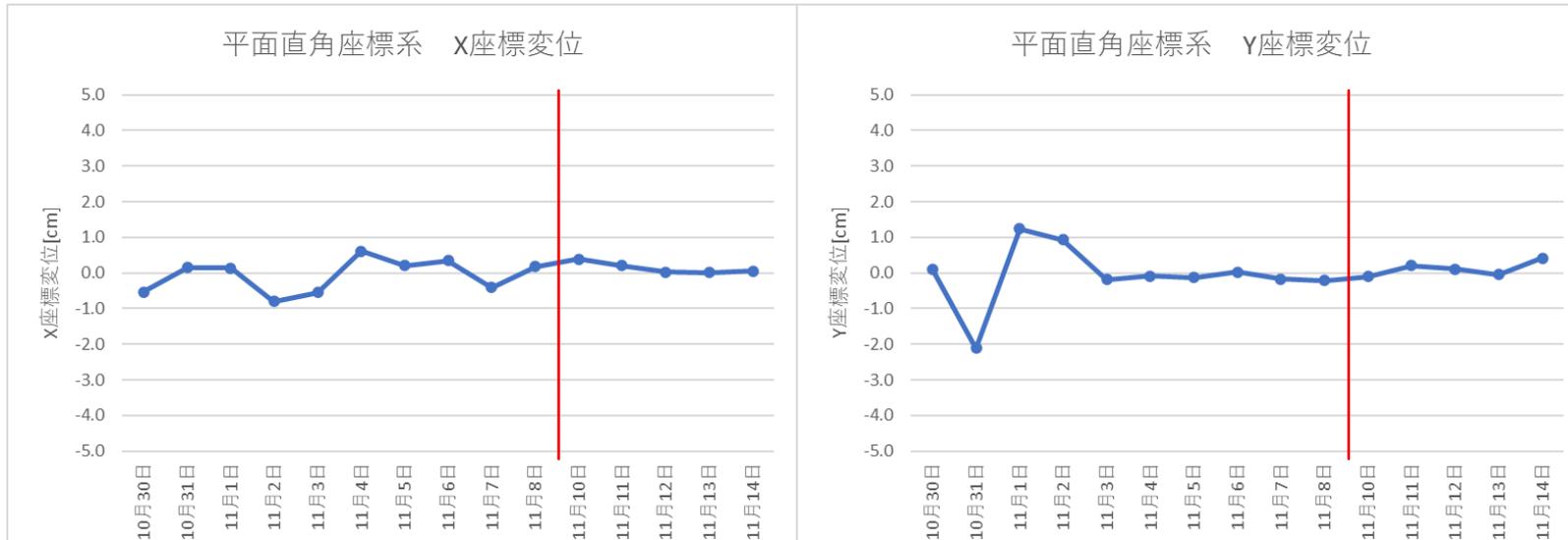
南北、東西方向に1~2cm程度の乱れはあるが、大きな変動は確認できない。

震源との位置関係



茂木

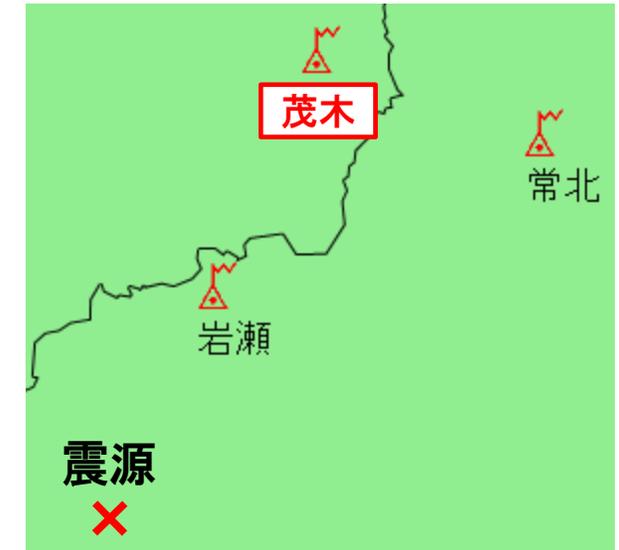
CLAS測位結果



赤線は地震発生日を表している。

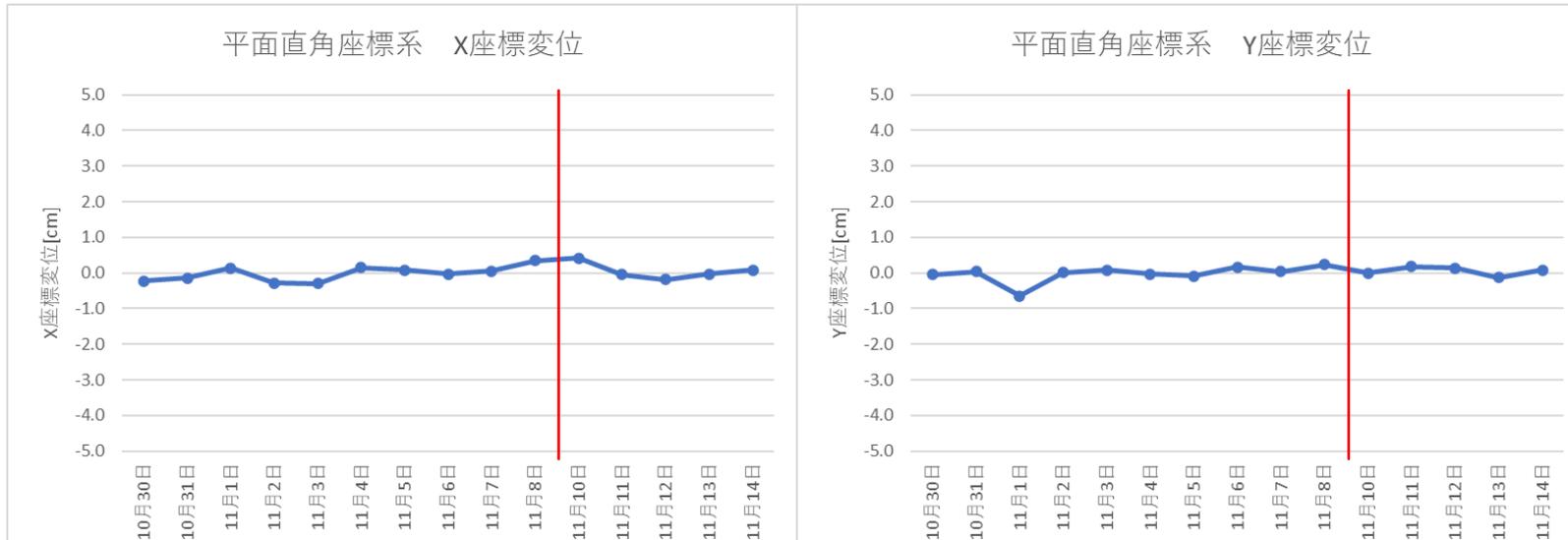
南北方向に1cm程度、東西方向に2cm程度の乱れはあるが、大きな変動は確認できない。

震源との位置関係



常北

CLAS測位結果



赤線は地震発生日を表している。

南北、東西方向ともに変動が小さいことが確認できる。

震源との位置関係



まとめ

最大震度5強を記録した近隣地域では、地殻変動は確認できず、地理空間情報等への地殻変動補正パラメータの利用に影響はないと判断する。しかし、今後の経過次第では、地殻変動補正パラメータの利用に注意が必要となる場合も考えられる。